

1. 件名：第 38 回研究報告会

2. 日時：令和 5 年 10 月 5 日（木） 10 時 00 分～11 時 56 分

3. 場所：原子力規制庁幹部会議室

4. 出席者（※一部 Webex 会議システムにて参加）：

○原子力規制委員会

山中委員長、田中委員、杉山委員、伴委員、石渡委員

○原子力規制庁

片山長官、金子次長、市村原子力規制技監、古金谷緊急事態対策監、  
佐藤核物質・放射線総括審議官、大島原子力規制部長、吉野総務課長、  
遠山技術基盤課長（技術基盤課）、永瀬規制基盤技術総括官（技術基盤課）、  
久保田企画調整官（技術基盤課）、  
北野安全技術管理官（システム安全担当）、  
萩沼安全技術管理官（放射線・廃棄物担当）、  
杉野安全技術管理官（地震・津波担当）、  
森上席技術研究調査官（システム安全研究部門）、  
山口副主任技術研究調査官（システム安全研究部門）、  
高梨上席技術研究調査官（シビアアクシデント研究部門）、  
高田副主任技術研究調査官（シビアアクシデント研究部門）

5. 要旨：

原子力規制庁長官官房技術基盤グループが実施している安全研究のうち、健全な安全文化の育成と維持に係る検査に関する安全研究、及び再処理施設における高レベル濃縮廃液の蒸発乾固時の事象進展の整理について、配布資料に基づき原子力規制庁から報告を行った。

6. 配布資料：

資料 1 健全な安全文化の育成と維持に係る検査に関する安全研究

～ 安全文化を把握するための視点と特性属性の整備、及びその応用として  
の柏崎刈羽原子力発電所の追加検査手法検討～

資料 2 再処理施設における高レベル濃縮廃液の蒸発乾固時の事象進展の整理